



第11号

# 千 町 田

発行元:(農)のきの郷  
安来市利弘町 922-1  
Tel/Fax:22-2580  
発行責任者:山本 耕一

新年あけましておめでとうございます

今年も変わりますが、ぜひよろしくお願いいたします



代表理事  
仲井 邦義

新たな年を迎え皆様にはますます  
すこ清栄のこととお慶び申し上げます

ます。圃場整備事業が平成21年度

に着手し、いよいよ今年3月にて

完工となります。昨年3月には面

積が完了し4月より150haの営

農を開始しました。そのうち大豆

など転作付けを約60ha実施し

ました。昨年も当初より異常気象

を心配しておりましたが、やはり

田植え後の気温低下による発芽不

良、その後猛暑による干ばつ、長

雨やそれに伴う日照不足、さらに

台風と厳しい環境にさらされてま

いりました。また、心配しており

ました米価が予想以上の低落相場

となり、大規模担い手である、の

きの郷は経営に苦慮いたしました。

幸い、国やJAなどの概算金上乗せ

などで安堵いたしましたことです。

もともとして26年度は、厳しい予算  
でのスタートとなっております

が、各種交付金・助成金などに  
り何とか赤字を乗切る決算できる  
見通しとなりました。これも一重  
に組合員各位のご協力の賜物と感  
謝しております。

圃場整備終了後は、

圃場内の道路、水

路などの維持管

理や周辺の農

地など荒廃

させないた

めに地域の

環境整備と

自然を守る

一環として、

現在は各町

内で行ってい

る農地・水事業

を一元化できる

よう検討してい

たいと思います。

安心・安全な生産物の提供と自

然環境に配慮したのきの郷の事業

を今後一層のご支援ご協力を賜り  
ますようお願いいたします。



副代表理事  
原 昭夫

新年おめでとうございます。組

合員の皆様には、ますます清栄

のことと思います。設立されまし

た農事組合法人のきの郷は組合員

の皆様方の格別なるご協力ご指導

をいただき第2期決算を迎える

ことになりました

た。また、圃場の

整備事業も排水

施設などを残し

ほぼ完了し、今後

のきの郷が持続

的発展と健全な

経営をめざし一

層発展していく

ことを期待して

やみません。

今年法人と

して課題が山積

みしている中で

の本格的に動き出す年になる

うかと思えます。今まで先人た

が培ってきたこの能義平野での、

安全で安心して食べられるおい

い米作りはもちろんTPPを始め  
とする諸問題にも対処していかね

はなりません。今後とも皆様方  
の変わらぬご指導ご協力をお願い  
いたします。年頭のあいさつとい  
ます。



副代表理事  
河津 一行

組合員の皆様、あけましておめ  
でとございます。昨年は、米価

の低迷で苦しんだ1年でしたが皆

様方のご協力でなんとか無事に新

しい年を迎えることが出来ました。

今年理事役員が改選され、新

しい体制で第3期目が発行するこ

とになります。農業情勢はまだま

だ厳しいものがありますが、5年

後10年後を見据えて新しい農業の

在り方を模索していくことがこれ

からの課題ではないかと思ってい

ます。

難しい話はこれくらいにいたし

まして・・・。今年の春には、圃

場のあちらこちらでレンゲや菜の

花が咲き誇るときが来ます。我々

も組合員の皆様のご協力を頂きな

がら希望の花を咲かせることが出

来るようにさらに努力せねばと思

っています。今年もご助力いた  
きますようよろしくお願いいたします。

# 《美味しまね認証》 取得しました

ト口箱栽培のとまと  
について美味しまね認  
証を申請していただき  
が、いよいよ認証され  
12月24日島根県庁に  
おいて交付式が行われ  
ました。

美味しまね認証とい  
うのは「安全でおいし  
い」を兼ね備えた産品  
を生産する生産者・生  
産方式を島根県知事が  
認証する制度」です。  
安来市ではのきの郷が  
初めて認証されました。



今年のとまと  
は、認証マーク  
にもある島根県  
のゆるキャラ  
「しまねっこ」  
の応援をもらい  
ながら拡販して  
いきたいと思っ  
ます。



## 平成26年事業を 振り返って

総務部長 山本耕一

元来、天候の良し悪しで農産物の  
出来が左右されるが昨年は特に天気  
に翻弄された年であった。水稲は順  
調に生育し今年はと期待したが、梅  
雨明け後は少雨となり渇水対策に奔  
走した。ところが8月初めから台風  
12号11号による大雨強風の洗礼を  
受け、その後は降雨、曇りの日が続

き月間の日照時間は観測史上最低値  
を記録したと報じられた。この影響  
で早稲品種は登熟不良による減収、  
飼料用米は徒長軟弱ぎみに生育した  
ところへ台風が襲来し倒伏被害を受  
けて減収といった結果となった。  
また8月下旬に提示された26年産  
米の概算金は戦後最低の安値が発表  
され、いずれは400円台になると予測  
はしていたが急変すぎた。26年度の  
耕種売上は米価安値と収量減の影響  
を受け予算対比95%に留まる結果と  
なったが飼料用米や大豆等の作付助

### 通常総会のお知らせ

第2期通常総会を下記日程に  
て開催します。組合員の皆様の  
幅広いご意見や感想をいただき  
今後の経営方針など決定してい  
きますので多数ご参加いただき  
ますようによくお願いいた  
します。

- 監査日 .. 2月4日(水)
  - 資料配布 .. 2月6日予定
  - 通常総会 .. 2月15日(日)
  - 午後2時より
- 総会会場 .. 能義交流センター

成交付金で経常利益は黒字決算とな  
った。念願であった青年部会、女性  
を中心とした特産部会を創設し、将  
来のきの郷の担い手、地域雇用に  
向けての明るい兆しが見えてきた。



いらっしやいませ

2月13日 農研機構

堀江様

### 地域探訪

今回は赤崎町の貴布禰神社を紹  
介します。主祭神は、たかおかみ神。  
水の神様ということで水にちなんだ  
**高竈**という文字があてられてい  
ます。

由緒は、西暦920年に京都の貴船神  
社から勧請されました。古事記の時  
代よりこの辺りは舍人郷と呼ばれて  
いたことから、中央から派遣された  
役人またはその子孫が京都よりお迎  
えしたといわれています。合祀され  
ているお宮は、久須志神社、城山神  
社、舍人神社などあり、大己貴命、  
少彦名命という農耕を司る神様が祀  
られています。また、大國魂命と共  
に、使役された牛の霊を祀る牛神  
社もあります。

昭和50年代から毎年5人前後の氏  
子が貴布禰総本宮である京都の貴船  
神社にて6月1日に行われる例祭の  
おみこしに担ぎ手として参加してい  
ます。また20年には勧請より110年目  
を迎え、それに合わせての遷宮の準  
備も進んでいるようです。

ちよっこし聞いて  
今年もよろしくお願ひします(笑)